



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30-13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
	電話	0235 5775

会長	三井 健
幹事	山口 篤之助
会報委員	穂田 光一郎
	新鷲 幸雄
	安嶺 定助
	藤岸 光吉

No., 997

1979.3.6 (火) (雨)

No.34

ウィンター紹介

菅原 鉄三郎君	雑貨小売	佐藤五右工門君	請 負	温海 R.C
加藤 広君	電気工事	斎藤 吉雄君	管材販売	鶴岡西 R.C

◆ ゲスト紹介

交換学生 ジョン君 米山奨学生 蔡慶隆君

会長・幹事報告

三井 健君

1. ロータリー財団から鶴岡 R.C 累計総額 3,100%達成 (1月31日付) の通知
2. 理事会で地区主催、交換学生国内旅行 当クラブ分担金40,000円支出決定
3. 財団留学生として山大、土壌肥料研究室 皿谷康広君を面接の上推薦したい。
(アメリカミネソタ大学留学)

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

4. 交換学生派遣について 市川輝雄君お嬢さん（アメリカ留学）を推薦
5. I.C会員 大滝均君、加藤昭君、川田春君“おもちゃの病院”での奉仕に対して表彰したい。（鶴岡市広報掲載）
6. 3月27日 第1,000回目の例会日にあたり、会員の職場の永年勤続者を表彰することになった。職業奉仕委員会まで推薦されたい。
7. 中野重次郎君の退会願いを認めた。

◆ 交換学生ジョン・R・アットウッド君挨拶（日本語）

今月、私は交換学生の旅行で東京・広島などに行きます。私は日本の歴史、文化について勉強したいと思います。ロータリークラブがこの旅行のために沢山お金を出してくれたことを感謝します。今週と来週、私は日本語、数学、物理の3科目の試験があります。私は頑張りたいと思います。

私は学校で沢山の友達をつくっています。そして学校生活を大いに楽しんでいます。ご親切にどうも有難うございました。

◆ 前交換学生ブレントン君からの便り

国際親睦委員会

親愛なるロータリーの皆様へ

私が第2の故郷、日本をあとにしてから早6週間の月日がたちました。帰国してから私は父のやっておる店を手伝っております。そして日本に再びまいりますよう儉約に儉約を重ね貯金しております。

交換留学生として過ごした日本での一年は私にとって最良の年でありました。私の次に鶴岡に行ったジョンは、きっと素晴らしい経験をしていることと思います。私はジョンがあんなに素晴らしい鶴岡にいて色々な経験をしていることをうらやましくおもいます。

鶴岡は今、たぶん雪ですね。皆様スキーをなさっていると思います。当地では私、スキーのかわりに水上スキーをして楽しんでおります。

今年当地のクラブに福島より留学生が3月23日に来る予定です。勿論私の家もホストファミリーになっております。皆様もぜひ当地においで下さい。私共は家族をあげて歓迎致します。

当地に帰ってきてから私は剣道のデモンストレーションを4回やり、当地のクラブの人々に喜ばれております。

近い将来皆様と再会出来る日を楽しみにしております。

末筆ながら皆様様の御健康をお祈り致します。 ブレントンより――

◆ 会員スピーチ ロータリー発祥と発展の背景（その一）

—ロータリー創立記念日にちなんで— 三井 徹 君

ロータリー観の一つとして、「ロータリーはヒューマニティーの具現」であると云うことが出来ましょか。

「ヒューマニティー」は、人類が共同生活、社会生活を始めた時に必然的に発生したもので、原始時代に源を発しているが、其の後長い人類文化の発達によって、良心・理性・道徳・宗教のように分化、布衒し、今日非常に次元の高いものになっている。

人類の心の中に常にヒューマニティーは流れて来ている。

原始以来、長い長い人類の進化、文化の発達がある程度に達し、人々が自主性で物を考えるようになり、外部の体制的な束縛がとり去られ、民主主義が発達した状態の母地にロータリーは誕生した。しかも社会的、経済的な変動など人々の心を強く打つような動機が働いた時、即、人々がヒューマニティーを強く求めた時にロータリーは急速に発展した。

ロータリーの現況をみると

1954年	世界のクラブ数	約8,000	日本のクラブ数	180
現在	〃	17,898 (2.2倍)	〃	1,423 (7.9倍)

此の25年間、毎日1つ以上のロータリークラブが世界の中の何処かで誕生しているという発展拡大を続けて参りました。殊に日本のそれは驚異的です。

此の状況を見ると西欧のキリスト教、回教、ユダヤ教などの人間の性悪説をとっている宗教的な影響を受けている人々よりも、日本のような儒教・仏教・神道のような性善説をとっている宗教的な影響を受けている人々の方がロータリーを受け入れ易い素地を持っているのではないかと思います。

当鶴岡 R.C の活動が比較的活発なもの、そのような影響があるのではないのでしょうか。鹿児島地方のロータリーをみてもそんな感じがします。

此のように考えますと、今後中国でも又多くの開発途上国でも民主主義の社会が出来ればロータリーは発展して行くだろうと考えられると思います。

○アメリカに於けるロータリー発祥の実状

其の背景 1620年 英国のピューリタン(清教徒)の一群が宗教の自由を求めて帆船メイフラワー号に乗って、アメリカ東海岸ニューイングランドに上陸、以後フロンティア精神を以って開拓を開始。

1775年 独立戦争 1815年以降 <資本主義の発達
産業革命

1823年 独立(13州)以後、西部開拓

1860年 アメリカ南北戦争、以後民主主義の成長

1870年 繁栄して来たシカゴ市街の大火

1890年 シカゴに於いて、第1回万国博覧会開催
(19世紀末)シカゴ市街の復興

博覧会終了後間もなく折から全米を席卷して来た金融恐慌に巻き込まれて不況零落のどん底に陥った。

シカゴ市街の惨たんたる有様。多くの建物には売家・貸家の札が貼られた。場末の裏町では、仕事がなく、家なく、食物に窮した人々が沢山出た。スープ店が到る処に出現、公共の建物には此れ等の人々で溢れた。警察の留置場は常に超満員だった。軽犯罪をやってそこに入れられて食事にありつけるからだ。

此のような状況の中で、開国以来、比較的高い職業観を持っていたシカゴの実業家達が、此の逆境に直面した時、案外、日頃の職業精神を放棄して、市井の奪い合いの中に加わった。専ら自己保存第一主義が人々の支持を受ける有様になった。その中には社会悪と正義との戦い、個人の心の中に不正と良心との葛藤があった。

此のような「悪徳と腐敗の街」と云われた逆境の中に、心ある市民の胸中に

潜む開拓部落以来多くの試練に堪えて来た“I will”つ精神、即“やるぞ”という意気込が盛り上って来た。そして徐々に復興に向かって立ち上った騒然たる此の都会の中にロータリーが誕生した。

1905年2月23日夜（日本では明治38年日露戦争中）

シカゴ市ディアボーン街ユニティービルにあった鉱山技師ガスターパス・ロアの事務所に於いて第1回のロータリーの会合が行われた。メンバーは、ポール・ハリス（弁護士）ハイラム・ショーレー（仕立屋）シルベスター・シール（石炭商）ガスターパス・ロアの4名である。

以後ロータリーは人類史上その類をみないようなユニークな組織に発展して来ている。

委員会報告

親睦活動委員会

会員誕生お目出度う

金沢春雄君、小松広穂君、皆川英二君、中野清吾君、斎藤栄作君、佐藤昇君、佐藤忠君、手塚林治君

奥様誕生お目出度う

高橋多恵子(良士)様、高岸富士枝様、佐藤喜代恵(正郎)様、佐藤晴子(衛)様、斎藤貞(栄作)様、野村初枝様、嶺岸豊子様、板垣智恵子(広志)様、石川徳江様、早坂保江(徳治)様

◎皆出席表彰

- 年間皆出席 6年間皆出席 板垣俊次君 2年間皆出席 菅原辰吉君
- 3年間皆出席 迎田 稔君 1年間皆出席 川村徳男君
- 2月125%出席 2名
中江君、高岸君
- 2月100%出席 52名

出席委員会

阿部(与)君、阿部(襄)君、安藤君、張君、早坂(源)君、飯白君、石井君、石黒君、五十嵐君、石川君、市川君、板垣(俊)君、阿蘇君、秋野君、風間君、川村君、小池君、小松君、嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、森田君、中村君、中野(清)君、小野寺君、西海君、斎藤(得)君、佐藤(忠)君、佐藤(順)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、鷲田君、笹原君、新穂君、内山君、丹下君、菅君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、迎田君、山口君、菅原君、手塚君、富樫君、上野君、諸橋君、渡会君、吉野君、野村君、宮沢君、藤川君。

出席報告

出席委員会

本出 日の 席	会員数	71名	欠 席 者	阿部(与)君、早坂(源)君、五十嵐君、板垣(俊)君、高橋(耕)君、三浦君、中江君、中野(重)君、斎藤(栄)君、佐藤(友)君、佐藤(正)君、高橋(良)君、津田君、渡会君、高岸君
	出席数	56名		
	出席率	79.17%		
前出 回の 席	前回出席率	76.06%	メ ア ッ ク ブ	阿部(与)君、三井(徹)君、森田君、中野(清)君、内山君、菅君一鶴岡西R.C
	修正出席数	60名		
	確定出席率	84.51%		